

小平中央公園鳥類調査報告書

2013年5月25日

井の頭バードリサーチ 高野丈

調査実施日時：2013年4月28日

天候：晴れ

調査員：どんぐりの会、井の頭バードリサーチ

調査地：小平中央公園および玉川上水

調査方法：スポットセンサス

調査定点：うさぎ橋、中央公園雑木林上水側、奥側、津田塾大遊歩道、津田塾大南

1. 全観察種（14種）

留鳥（一部漂鳥）：キジバト、シジュウカラ、ハシブトガラス、ヒヨドリ、ムクドリ、メジロ、

夏鳥：アカハラ、キビタキ、センダイムシクイ、ツミ

冬鳥：シロハラ、ツグミ、ヒガラ、ヤマガラ

2. 各定点での出現率および総合出現率

a.うさぎ橋

カウント

ツグミ	4	10.8%
キジバト	3	8.1%
ヒヨドリ	11	29.7%
キビタキ	7	18.9%
シジュウカラ	4	10.8%
センダイムシクイ	5	13.5%
ヤマガラ	1	2.7%
ツグミ sp.	1	2.7%
ハシブトガラス	1	2.7%
	37	100.0%

b.雑木林上水側

カウント

ハシブトガラス	7	12.3%
ヒヨドリ	12	21.1%
ムクドリ	30	52.6%
シジュウカラ	3	5.3%
キジバト	2	3.5%
キビタキ	2	3.5%
センダイムシクイ	1	1.8%

総合出現率

アカハラ	10	4.6%
キジバト	6	2.8%
キビタキ	9	4.1%
シジュウカラ	10	4.6%
シロハラ	4	1.8%
センダイムシクイ	6	2.8%
ツグミ	4	1.8%
大形ツグミ類の一種	1	0.5%
ツミ	1	0.5%
ハシブトガラス	15	6.9%
ヒガラ	3	1.4%
ヒヨドリ	81	37.3%
ムクドリ	60	27.6%
メジロ	6	2.8%
ヤマガラ	1	0.5%

217 100.0%

		57	100.0%
c.雑木林奥側		カウント	
ムクドリ		15	30.6%
アカハラ		10	20.4%
ヒヨドリ		13	26.5%
メジロ		6	12.2%
シロハラ		4	8.2%
ハシブトガラス		1	2.0%
			0.0%
		49	100.0%
d.津田塾遊歩道		カウント	
ヒヨドリ		30	90.9%
ヒガラ		3	9.1%
		33	100.0%
e.津田塾大南		カウント	
ムクドリ		15	36.6%
シジュウカラ		3	7.3%
ヒヨドリ		15	36.6%
ハシブトガラス		6	14.6%
キジバト		1	2.4%
ツミ		1	2.4%

※太字は夏鳥、冬鳥

3. 調査結果について

- a. 調査定点 5 カ所の内、4 カ所で夏鳥(センダイムシクイ、キビタキ、アカハラ、ツミ)を確認。小平中央公園は夏鳥が立ち寄って休息する中継地であることを示している。
- b. 調査地点 5 カ所の内、3 ヶ所で冬鳥(シロハラ、ツグミ、ヤマガラ、ヒガラ)を確認。この時期に冬鳥が多く確認できたのは、今冬シーズンに冬鳥が豊富だったからだとと思われる。冬鳥と夏鳥を同時に確認。
- c. 冬鳥ではなく、夏鳥として季節移動中のアカハラ 3 羽が雑木林奥側に立ち寄っているのを確認。中央公園の雑木林の役割の一つを確認。
- e. 要検討事項の林床保護を進め、継続調査をすることが必要。

以上